

エスペラントは心の国境を消すことばです

Organo de Hokkajda Esperanto-Ligo

Heroldo de HEL

N-ro 178

Julio 2018

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

[Enhavo/目次]

- ・表紙、Enhavo/目次 P. 1
- ・エルブラまつり 2018 : 後藤純子 P.2
- ・Raporto pri Fru-somera Kunloĝado de HEL 2018/
2018年HEL初夏合宿報告/ 後藤純子 P.3
- ・初夏合宿報告[中高生クラスを担当して]/後藤純子 P.7
- ・初夏合宿報告 (入門、初級、会話、中級) P.8
- ・北大エスペラント研究会北大檜陵祭活動報告 P.12
- ・Rememore pri bedaŭrata S-ro KONISI Gaku/
小西岳さんをしのんで/HOŜIDA Acuŝi P.14
- ・"Apud-Moskva Vespero" 楽譜 P.15
- ・S-ro Yamamoto kaj LEONTODO/山本昭二郎さんと
LEONTODO/HOŜIDA Acuŝi P.16
- ・Protokolo de la 5-a Komitato Kunsido de HEL / Kasjaro 2018 P.18
2018年度 第5回北海道エスペラント連盟委員会 議事録
- ・Danke ricevitaj (星田淳扱い読みたい方はご連絡ください) P.20
- ・[編集後記/Redaktanto parolas] P.2

エルプラまつり2018

[9月8日(土)]10時~15時]

場所: 3階 洋和裁室

(文責: 後藤純子)

エルプラまつりとは?

10年前から札幌市が実施しているチャリティー事業で、札幌エルプラザで活動している市民活動団体やサークル団体の活動紹介、体験会を中心に、市民、地域、企業、行政と交流を図ることを目的としたイベントです。年1回実施され、毎年、7千人位の参加者があります。

我が北海道エスペラント連盟にとっては、エスペラントを売り込むまたとないチャンスです。しかも無料で!エスペラントの認知度は、まだまだ低いです。

HELでは、「世界の平和と平等を目指す言語エスペラント」をキャッチフレーズにして、本や機関誌、外国の人々との交流の写真などの展示、ミニ講座の実施を計画しています。

HELのみなさん、是非、参加して応援して下さい!会場でお待ちしています。「どっこい、生きてるエスペラント!」を共に市民の方々に知らせようではありませんか!

(3階、洋和裁室は、床が冷たいのでスリッパをお持ち下さい。おうちに余分なスリッパがありましたら、お貸し下さい。)

[編集後記/Redaktanto parolas]

*ふつう印刷予定日の前1週間を編集作業に予定しています。それまでに原稿は到着している、と考えて。今回は編集期間になってから到着する原稿が多く、ちょっと忙しくなりました。

Raporto pri Fru-somera Kunloĝado de HEL 2018

2018年HEL 初夏合宿報告

後藤純子

- 日時：6月30日(土) 13:00-7月1日(日) 12:30
- 会場：柴田内科循環器研修センター(市内西区西野1条7丁目)
- 参加者数：21名 (HEL 会員12名、会員外9名)
- クラス別人数と指導者
 - ・入門 (講師：阿部映子) → 2人
 - ・初級 (横山裕之) → 1人
 - ・会話 (講師：川合由香) → 5人 (講師30日のみ)
 - ・中級 (講師：星田淳) → 2人 (受講者7月1日は6人)
 - ・中高生 (講師：後藤純子) → 3人

- ゲームと歌
 - ・1日目：学習後、全員集合で2年前から恒例になっているリレー会話 (Paraj babiloj) を楽しんだ。2列の向かい合った列が、丁度、部屋の両壁の手前になり、全員の声がかなりの迫力だった。笑顔の会話がたのしい雰囲気醸し出していた。
 - ・2日目：解散の前に全員で「Koropokkur-コロポックル」の歌を合唱した。この歌の作詞は、小学校の音楽で習う「たき火」(さざんかさざんか咲いた道)の作詞者 巽聖歌、作曲者は、エスペラント界では有名な牧野三男さん。訳詩は、星田さん。歌唱指導は、勿論星田さん。少し、民謡調だった。
最後に、各自一言感想を書いて解散した。
- 今回の初夏合宿について

今回は、北大エスぺラント研究会から4人の参加があり、また中高生が3人、その他にも若い人が参加していたので、活気があった。また、チラシを見たり、インターネットでHELの（アドレスを見つけて）申し込んで下さったり、その積極性が、雰囲気にも現れていた。

北大祭では、この合宿についてのチラシを90枚も、古本市にきた人達に配布して下さった、北大エスぺラント研究会のみなさんにお礼申し上げます。

今回、中高生のクラスができたことも画期的で、この合宿が始まって以来のことだと思う。是非、来年も参加して欲しい。

（後藤純子）

（参加者の一言感想）（2日目にいた人のみ）（順不同）

☆ 一昨年ぶりで、かなり忘れてしまっていることもありましたが、2日間、楽しかったです。リレー会話は、実際に話す練習ができ、交流も出来たのでよかったです。

（中1、佐々木杏華）

☆ 純子さんに教えてもらえて、うれしかった。希望は、扇風機の延長コードだけです。（当日、暑かったので、延長コードが欲しかったらしい-後藤）大満足でした。ありがとうございました。

Dankon!

（高1、藤原健太郎）

☆ アットホームな雰囲気だったんで、初心者で不安でしたが、すんなりと、とけ込むことができました。

アイヌ文化の一端にも触れることができたので、それも楽しかったです。是非、来年も参加したいと思いました。

2日間でしたが、濃密な時間を過ごす事が出来て、嬉しかったです。Gis!

(高1、渡辺 歩)

☆今回も、大変良い勉強になりました。

第1日、会話クラス。川合さんの導きで、2~3のテーマでにぎやか”に話し合いができました。エスペラントに日本語が混ざると、川合さんが通訳されて(エスペラントへ)。

第2日、星田さんの指導で、星新一の「ショート、ショート」のエスペラントを楽しみました。星田さんの仕掛けで随分と、考えさせられました。

和歌のエスペラント訳は、非常に難しかったが、やはり、とても、楽しめました。これからも、今度のような講習会を希望します。
(白濱晴久)

☆今回、初めて参加しましたが、とても楽しかったです。成長も実感できました。

初級クラスということで、文法の基本的な知識を習いました。会話コースも見学しましたが、私には、難しかったので、来年迄に勉強して参加出来るようになりたいです。見学のみでしたが、実践が大事である事を、再認識しました。

1日目の終わりのリレー形式の会話も新鮮でとても良い経験になりました。後の学習の後押しになる内容でした。来年も是非参加したいです。参加者の皆さんも親切で、とても勉強し易かったです。
Dankon!

(加藤千裕)

☆エスペラントの学習、初めての体験で、とても、参考になりました。阿部先生の分かり易いご指導、ありがたく感謝致します。

ております。

次回、勉強して、少しでも、身に付くようにと、思っております。
(宮越葉子)

☆一日だけの参加でしたが、中級クラスで、星田先生に星新一のショート、ショートのエス文を想像たくましくしながら訳したり、エス文で短歌を詠む等、楽しく(かなり難しく、悩みながら・・・)学ばせていただきました。

来年も、中級受講します!! Koran Dankon!!!

(留目昌子)

☆ 仲間に不幸あり、半分の受講だったが、難しくもあり、楽しくもあり、日常の糧として、交流にかなうもの無し。

来年も又、希望(エスペーロ)でありたい。

(後藤義治)

☆Kun terureco mi aligis al mezklaso, kie estas nur du kunuloj, escepte gvidanto s-ro Hosida. Elpensitaj instru-materialoj estas malfacilaj, kiom en la fino mi ne povas solvi. Sed asisto de s-ro Hosida helpis nin. Tio sufiĉe prezurigis nin.
(山下博子)

☆ エスペラントの奥深さに触れる事が出来ました。

良い時間をすごしました。ありがとう。

Mi povis tuŝi profundecon de Esperanto .

Mi havis bonan tempon. Dankon!

(無記名)

☆ 中級講座に参加してみて、追いつくのに必死だったが、良い刺激になった。特に、和歌をエス訳するのが、面白かった。

短編も、短いながらも、起承転結をエスペラントを通して理解でき、達成感があった。
(無記名)

[中高生クラスを担当して]

後藤純子

今回、中高生クラスを担当することが決まった時、先ず考えたことは、テキストを決める事だった。授業時間は、正味5時間ほど。そこで、3年前に行われた世界スカウトジャンボリーの為に堀田裕彦さん（スカウトエスペラント連盟日本支部代表）が作成された「スカウトのための秘伝ツールエスペラント」の小冊子がこの3人にぴったりだと気づいた。理由は、中身が、簡潔で、歌（FRAT JAKOBO）あり、挿絵あり、所々、英語も入っている。授業では、早速、上記の歌を輪唱した。

また、現役の頃、小学校のエスペラントクラブで、よく遊んだハナハナゲーム、それを思い出させる顔の挿絵、目、耳、鼻などの *esperanto* の単語が、この冊子に。高校生には、失礼か？と、思いきや、「こりゃ、おもしれーや！」と、はまってくれた！疑問詞の使い方もばっちり入っている。と、言う訳で、今回、殆どこの冊子で進めて行ったが、発音練習は、ドリル式も使った。又、ザメンホフの話にも時間をさいた。それから、カルタ取りでも遊んだ。また、リレー会話の練習にも時間を割いた。

「英語よりエスペラントの方が好きになった！」らしい。（仄聞だが）

堀田さんには、ご多忙の中、この冊子を送って下さり、感謝しています。

初夏合宿報告（入門クラス）

阿部映子

今回は、入門クラスは2名の参加がありました。1名は30日だけの参加でしたが、2人とも、とても熱心でした。

まず、JEI 作成のエスペラント紹介の冊子を使用して、エスペラントについて説明してから、発音を中心に勉強しました。

30日最後に行うゲーム（リレー会話）に参加しても楽しめるように『Saluton』『Mi estas………….』『………….』

kaj vi?』など、あらかじめ自分のことを書き込める用紙を渡して、記入して虎の巻として使用してもらいました。

まず自分から話して質問して、後は相手に話してもらい、理解できないときは、「もっとゆっくり」とか、「もう一度話してください」と頼むのがいいと、会話不勉強な私が普段会話の際に使用している技術（?）も伝授しました。

お二人が、エルブラ祭り、HEL 大会の講演会にも参加していただけないかなあと期待しています。

最初は、自信なく始めた入門クラスの講師ですが、回を重ねると、何とかエスペラントについて最低限の説明はできるようになってきました。全体として、今回は、若い人が多数参加して良い初夏合宿だったと思います。

Elementa klaso de HEL-Kunloĝado Frusomera/2018

2018 年初夏合宿初級クラス

初級講座の講師をした横山です。

初級の受講生は、北大エスペラント研究会の1名(S-ino Kato)でした。初級講座では、JEI のドリル式エスペラント入門をテキストに使いました。

テキストに入る前に、最初に学習の参考になる書籍やサイトを紹介して、エスペラントの組織について説明し、Pasporta Servoの話もしました。

そして、エスペラントを始めた理由やエスペラントの学習の履歴などを聞いてから、テキストの中では文法的事項を説明し、質問があれば受け付けて、練習問題をやってもらいました。

2日の講習で、Leciono Aのテキストの終わりくらいで終了したので、残りLeciono Bのテキストは自分で学習することにして、質問等があれば、HELの掲示板やメールで照会するように言いました。

講座の中では、冒頭で述べた推薦する辞書や参考書などや、独学でエスペラントを勉強できるサイトを改めて教えました。

また、語彙数がとても多いエス日・日エス電子辞書がある無料のサイトも教えました。

エスペラントは、まだ初めて2～3か月で単語はよく覚えていないということでした。

単語については、英語から類推できる単語もあるし、ラテン語やフランス語も勉強しているとのことだったので、似たような単語があると思うので、関連付けて覚えれば一石二鳥になるのでは？と進言しました。

実際、講座の中でエスペラントの単語について、エス日辞典や仏和辞典で調べて、似たような単語があることを確認しました。また、私も最近ラテン語を学習し始めましたが、エスペラントに似たような単語が結構あることがわかりました。

ラテン語もエスペラントに似た単語が結構あるが、活用については、複雑な活用があるラテン語と比べて、エスペラントとこんなに違うねというような話もしました。

初夏合宿報告（会話クラス）

川合由香

6月30日の1日限りの開講となった会話クラスでしたが、参加者の皆様のご協力でにぎやかな盛り上がりのうちに終わることができました。

恒例のゲーム「Kiu mi estas?」の後、講師が簡単な単語集を配って、6月の「米朝首脳会談」を題材に自由な diskuto と babilado を開始。「両首脳はなぜ態度を変えて会談をしたのか」「北朝鮮が核を持つことはなぜ危険なのか」「今後の米朝はうまくいくのか」「北朝鮮の経済は将来、中国のように発展するか」といった話から始まりましたが、話題はどんどん移って「資本主義の欠点克服法」「ムハマド・ユヌス（注）の説と実践」「イスラム社会における喜捨と無利子銀行」「サッカーW杯」などへ。最後はくだけて「青函連絡船の思い出」「自家製パンづくり」等々、今年も講師の自分用カンニングペーパーは出番がなく、時間を持て余す不安は杞憂に終わりました。

面白い話題を提供して下さった白濱晴久さん、聖書のことばの解説をして下さった柳幸三郎さん、文法的に正確なエスペラントを話しておられた大友満昭さん、後輩を誘って来てくれた覚知煩春さん、初心者ながら頑張って参加してくれた18歳の松坂太一さん、ありがとうございました。柴田智美さんが体調不良で隣室で休んでおられたのが残念でしたが、後から「寝ながら皆さんのエスペラントをたくさん聴けて楽しかったですよ」と言っただき、うれしかったです。

注) ムハマド・ユヌスはバングラデシュの経済学者・実業家。1983年にグラミン銀行（マイクロクレジットと呼ばれる、貧困層を対象とした低金利の無担保融資を、主に農村部で展開。貸付のほかに起業のためのコンサルティング業務も行うのが特徴。貧困層の自立を促すことに成功している）を創設する。2006年にノーベル平和賞を受賞。マイクロクレジットは現在、途上国の

みでなく先進国にも広がっている。

Mezgrada klaso de HEL-Kunloĝado Frusomera/2018

2018 年初夏合宿中級クラス

HOŜIDA Acuŝi

「中級」というからは「初級」とどうちがうか。質問や説明も *tute esperante* でやろう、と毎度言ってはみるが なかなかそうはなっていない。質問と答えの例（初級クラス）をもう1度思い出してもらい たとえば 「"songi" って何？」 の質問を *Kion signifas "songi" ?* で行い、"songi" estas "vidi ion dum dormado". の答えで理解してもらった。

今回は今までよくあった「訳読」でなく 作品（短編）のあちこちを一部日本語（原文）、Esp. [訳文] で読んでもらい、「さて結末はどうなる？」と、謎解きの推理を楽しんでもらった。一人、結末を正確に当てた人がいたがむかし読んだことがあったらしい。材料は星新一のショート・ショート集から。これは *Mikronoveloj de Sin' iti Hosi* として松葉きくのぶさんの見事な訳で出版されている（JEI で500円）。

今回はその中から *La vaganta hundo*（さまよう犬） と *La amata horloĝo*（愛用の時計） を読んだ。

もう一つ、今回初めて 取り上げてみたのは 短歌の Esp. 訳。材料はバチェラー八重子の「若きウタリに」。意味は訳できても形を 5-7-5-7-7 に まとめるのに苦勞する。

形がまとまっても単語を並べただけでなく短歌は全体が文として出来上がったものでなければならないが、そこまでの説明は今回は出来なかった。

北大エスペラント研究会北大榎陵祭活動報告

報告者：北大エスペラント研究会会員 根本大輔

北大エスペラント研究会は世界共通語として提唱されたエスペラント語について学習するサークルである。その活動の一環として、2018年の6月1日から3日にかけて開催された北海道大学榎陵祭に古本市を出店した。例年のように売値を一律50円とした古本市で、今年は新入会員の増加や協力して頂いた方々のお力により、一層充実した出店となった。まずは以下に今回の成果を記す。

売上は以下の図のようになった。

日にち	売上
1日目(6/1)	22,000
2日目(6/2)	15,265
3日目(6/3)	5,060

また、売れた商品の内訳は以下の通りである（最後の日に値下げして売っているため、上記の売上では全てを50円で計算してはいない）

売れた個数	1日目(6/1)	2日目(6/2)	3日目(6/3)
本	391	276	137
雑貨			
カード	-	143	50
カード以外	49	15	1
総数	440	434	188

以下で準備から当日の販売状況を記す。

前日までの準備では、展示方法や売値などの議論に加え、商品となる本や雑貨を収集した。最終的に当日までにおよそ900冊の本と100個の雑貨が集まった。

1日目は全日晴れていた。11時頃の開店と同時に、多くの来客があった。午前中は特に雑貨の売れ行きが好調であり、午後2時頃には、雑貨はほとんど売れていた。本の売れ行きに関しては、開店時から5時頃まで大量に売れる時とそうではない時を交互に繰り返した。5時以降は薄暗くなった

こともあって来客が減ったが、全く売れなくなったわけではなく、最終的に閉店の21時頃まで売れ続けた。初日が今回の最大の売り上げであった。

2日目も晴れており、全体の売れ行きは良かったが、初日より午前中の来客数は減少していたように思われる。午後は昨日と同じくらいであった。雑貨は新たに置いたカードの売れ行きが良かった。この日も20時頃まで来客があり、特に本に関しては少しずつではあるが閉店まで継続的に売れていた。

3日目は、主に本が売れていた。午前に雨が断続的に降ったため悩まされたが、本は売れており、昼頃に雨が止んだことで、2時から4時頃までさらに売れ行きが良くなった。また、4時から5時の撤収まで本を10円に値下げしたことから、その間の売り上げも好調だった。カードは若干売れていた。

全体を通して考えると、今回売上が好調だった理由は以下の要因が考えられる。

- ・雨がほぼ降らなかったことで来客が多かったこと
- ・本や雑貨の数が多く、種類も豊富で幅広い客層に見てもらえたこと
- ・立地条件が角地で展示範囲が広く、立ち止まって見やすかったこと
- ・袋や展示などの出店準備がよくできていたこと
- ・周囲の店は食品がほとんどだったので、本の商品が特に目立ったこと
- ・本の厚さや元の価格に関係なくどんな本でも一律50円という非日常性があったこと

反省点としては、雨への対策や展示方法には更なる工夫の余地があることや、来客数が想定より多かったため、夜間の出店時の準備もより充実させるべきであったことが挙げられる。

しかし、会員全員の頑張りにより、ほとんど問題なく終えられただけでなく、過去最高の成果があったことを考えると、今回の榎陵祭は大成功であった。

今回の古本市は協力して頂いた方々のお力がなければ成功しなかった。宮沢直人様にはテントやブルーシートなどの出店に不可欠な設備を貸して頂いた。シャンティブックスの溜政和様にはおよそ 500 冊の本を寄贈して頂き、さらには本を展示する棚もお貸し頂いた。多大なるご協力を頂き誠に感謝申し上げます。また、後藤純子様、山岸悦子様、川合由香様からも多くの本や雑貨を寄贈して頂いた。厚く感謝申し上げます。

Rememore pri bedaŭrata S-ro KONISI Gaku
小西岳さんをしのんで

HOSIDA Acusi

Mi memoras, ke bedaŭrata S-ro KONISI vizitis hokkajdan Esp.-ujon por la unua fojo en 1962....

1月亡くなられた小西岳さんが我々に残してくれたものは多い。我々が時々歌うエスペラントの歌や文学作品にも彼の訳が多い。

彼が初めて北海道の我々の前に姿を見せたのは 1962 年 9 月、札幌での物理学会に出席した後だった。9 月 28 日彼の宿泊先富士館に苫小牧エスペラント会員 6 名が訪問。30 日には星田が同行して室蘭へ向かい向こうの samideanoj 4 人と測量山などを歩いた。

次頁の楽譜は彼が訳した「モスクワ郊外の夕べ」、その時受け取ったもので 彼の自筆。


ただし楽譜のすぐ下にあるロシア語の歌詞は 星田が書き加えたもの。

なお彼が HEL の行事に参加したのは 1991 年 5 月 3~5 日、南区滝野の札幌市青少年山の家での合宿のとき。エスペラント文法の講師をつとめてくれた。

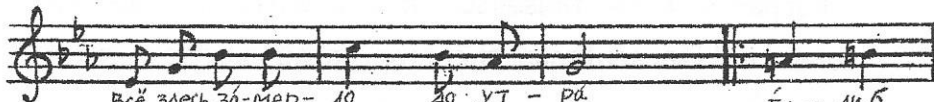
Apud-Moskva Vespero

(Подмосковные Вечера)


Trad. Konini Gaku




He sa-lyu-shu vca-dy. sa-ze uo-po-xu,
1. Mu-tas nun la park', mu-tas la ar-bar',
2. Flus-tro de ri-ver' flu-as kun su-sur'



Vse zvezd za-mep-to do-ut-pa ec-mo
dor-mas ĝis ma-ten' ti-e ĉi. Ho, ĉu
sub la he-la lun' de ar-ĝent'. Kan-to



zha-mi bbi kak mhe do-po-gu tra-mo-a-pud-
sci-as vi, ka-ras sen kom-par'
en tran-kvil' sve-bas tra ne-bul' dum la



no-b-hu-e. Be-ye-pa pa. pa.
mos-kva ves-per' por mi? mi?
ter' son-ĝas en si-lent'. lent'.

3. Kion vidas vi, kara junulin'
kun klinita kap' kiel flor' ?
Ne kuraĝas mi alparoli vin
pri l' sekreto en mia kor'.

4. Sed alvenos tuj baldaŭ la maten',
kore petas mi do al vi:
ne forgesu plu pri l' somero en
apud-moskva vesper' kun mi.

S-ro Yamamoto kaj LEONTODO
山本昭二郎さんと LEONTODO

HOŠIDA Acuŝi

Forpasis S-ro Yamamoto, nia pioniro en Hokkajdo. Ni rememoru lian senlaca energion antaŭ duonjarcento.

3月のHEL委員会で「山本昭二郎さん ご逝去」の報告があった。彼の名を知る人は少ないと思う。HdHELの前号(N-ro 177)ではTibor Sekeljの来道のときの記録「セケリー氏同道記」を再録したがそれは1960年当時のHEL機関誌LEONTODOからとった。

LEONTODOはN-ro 11(1955, 2, 10)から最終号(1983-9-10)までHELの機関誌だったが創刊号(1952 Julio)の表紙にはETA LITERATURGAZETO/ELDONITA DE OTARU ESP-ASOCIOの文字があり小樽で発刊された文学同人誌の印象。これを創刊以来編集印刷したのがS-ro山本昭二郎だった。当時20代の青年。

彼は「ぐちやら がんもうやら」と題して自分の思いをよく書いていた。「LEONTODOはgazetoであってorganoではない……」が彼の主張だった。団体の方針や報告を書くのではなく、「一人一人の思うことを(できればEsp.で)verkiしてほしい……」と願い、自分で歩いて原稿を集めていた。そのころのLEONTODOを見ると「エスペラント人種について」、「私はエスペラントを信仰して居ります」、「みたされぬ日のつぶやき(思索の Rond)」……など、大部分は日本語だったがEsp.文もだんだん増えてきていた。創刊以来2年間に8回発行、毎号30ページぐらい、表紙は色刷りのガリ版(謄写版)印刷。

当時としては注目されたのか、第 40 回日本エスペラント大会（1953 年、岡山）で機関誌賞を受けている。

ところで当時 HEL（北海道エスペラント連盟）は？ 毎年の北海道エスペラント大会は主催していたが働き手不足で機関誌は出せない状態だった。大会が近付くと「LEONTODO を HEL の機関誌に」との意見が出る。1953 年の大会（小樽）では「全道 esp-isto に解放された小樽の gazeto とする」ということで否決。

しかし LEONTODO は 1954 年には 2 冊しか発行できなかった。山本さんも努力の限界を感じたのだろうか。この年の道大会（札幌）では再提出された昨年提案は可決され LEONTODO を HEL の機関誌にすることになった。HEL 機関誌となった第 1 号 LEONTODO N-ro 11 (1955, JAN) の奥付きには LA ORGANA GAZETO DE H. E. L. と記入されている。

この号に彼は「引き継がせのことば」で

「レオントードは 11 号から H. E. L. の機関誌となり私は一切責任を解かれる……ほっとしている反面、内心はなかなかさびしい……これからは H. E. L. がやるので H. E. L. 次第でレオントードは枯れるかもしれない……」と心配もしていた。この心配は 1970 年レオントードが 1 年近く発行されなかったとき現実になりそうに見えたが……。 (これは いくつか機会あれば書きます)

実は山本さん、全聾の障碍者で小樽港の港湾労働者。何十貫もの荷をかついで船に出入りする重労働の後、LEONTODO の編集。印刷をこなしていた。

それまでガリ版などまったく経験なかったが この gazeto を出すために印刷技術をみがき、ついにはこれで生活を支えた努力の人だった。

Protokolo de la 5-a Komitato Kunsido de HEL / Kasjaro2018

2018年度 第5回北海道エスペラント連盟委員会 議事録

日時：2018年5月20日（日） 13：15～14：10

場所：札幌エルプラザ2階 消費者サロン2

出席者：横山（司会）、阿部、後藤（純）、後藤（義）、山下、星田、川合（記録）

【組織】（川合）

・入会0、退会0。

正会員27、購読会員7、青年会員2、特別会員1、家族会員1（現在会員数：38名）。

【財政】（阿部）

・特記すべきことは、なし。順調に執行している。

【広報】（横山）

・HPのアクセス数は591216件（2か月前比+200程度）。内容を更新し、HELの旧機関誌「Leontodo」のPDFや、2017年道大会公開講演（M.Y.ヒモロ氏）の音声ファイルを置いた。

・HPで歌集『若きウタリに』（パチエラー八重子）のE訳の参加者を引き続き募っている。

・HPのプロバイダ契約更新に伴い、トップページを改変。見やすくなった。

・5月20日、メールマガジン第174号を408部発行した。内容はRO「ことばの質問箱」からの転載や、HEL初夏合宿の案内など。

【情報・宣伝】

・「北海道新聞」「朝日新聞」に初夏合宿の案内記事の掲載を依頼する（後藤（純））。

【教育・研究】

・札幌E会（後藤（純））：『De Patagonio ĝis Alasko』のはじめの部分を講読。参加者は8～10名。

・苫小牧E会（星田）：『Kredu min, Sinjorino!』の講読。健康上の理由で欠席する人が多くあまり進んでいない。

・札幌市内有志（横山）：『Ĉu vi parolas Esperante?』を教科書に学習中。毎週水曜日19：00より、宮沢直人氏宅にて。参加者は2名（なお、北海道大会でJEI検定試験を受験予定の方1名が今後参加する見込み）。

【機関誌】 (星田)

・5月20日、「Heroldo de HEL」 n-ro177を80部発行した。全20ページ。T. セケリ氏の北海道訪問記が貴重。

【年間計画】

<初夏合宿> ・クラス分けは

入門：阿部

初級：横山

中級：星田

会話：川合

子ども：後藤 (純)

とする。会話クラスは講師都合により6月31日(土)のみの開講で、7月1日(日)の受講者には中級クラスへ合流してもらう。子どもクラスは現在のところ成立未確定。

・チラシを作成した。配架(配布)する場所は、札幌エルプラザ、かでの2.7、北大、地下歩行空間とする(後藤(純))。

・道内在住の非HEL会員 E-isto にチラシを送る。そのような方の住所はJEIに問い合わせで回答を得た。ご高齢等で明らかに参加が見込まれない人を除いた送付対象は13名(川合)。

・北大でのチラシ配布は覚知頌春氏に依頼する。なお、覚知氏は自作のチラシも用意されているとのこと(後藤(純))。

<北海道 E 大会>

・外部講師として招聘を交渉中のアレクセイ・モルチャノフ氏(ロシア)は、日本 E 大会(招待されている)の後に来道予定だが、まだ確約は取れていない。今後さらに連絡・調整をしていく(横山)。

・同氏の講演の通訳は星田委員(決定)。

・同氏の招聘が急に不可能になった場合の対策が必要(後藤(純))。

・↑日本 E 大会に来日・参加する外国の E-isto に、日本 E 大会の報告をしてもらう、という形ではどうか(阿部)。

【社会活動】

・『若きウタリに』の試訳は8割がたできている。今後、HEL外部の専門家にも質問して完成させたい(星田、横山)。

【次回委員会】

7月15日(日)13:00より、札幌エルプラザ2階会議コーナー(18人用)にて。議題は北海道 E 大会、ほか。同日10:00より機関誌の印刷を行う。

* Novaĵoj Tamtamas; n-ro 337/
majo 2018, Internacia Gazeto de
Esperanto Jokohama (Hama-
Rondo), A4X4 頁、エスペラント文。
いつもながら内容は日本文の La
Tamtamo と重なることが多い。
Beletro 欄には “Song`o: verkis
AKUTAGAŬA Rjunosuke, traduki
AIDA YAYOI.

* La Tamtamo; 第 509 号、2018 年
5 月号、NPO 法人エスペラントよこは
ま会報。A4X8 頁、日本文。巻頭記
事は「ハマロンド創立 50 周年記念行
事・国際交流写真展(前号に続く?)。
ヨコハマサローノでの輪読は T.Sekelj
の “MONDO DE TRAVIVAĴOJ”..
「コロボックル」の楽譜が出ている
(Heroldo de HEL と同時か)。

* ESKALO: 川崎エスペラント会機関
誌 No.169 (2018 年第 3 号) 発行
日 2018/6/27: B5X8 頁のうち E 文半
ページは茨城大学に留学シマダガス
カルに帰国した Fafah からの手紙。
Okazos 欄に川崎エスペラント会も
参加予定のインターナショナルフェス
ティバル in カワサキ(7 月)。チラシは
この号に同封。

* La Movado: 関西エスペラント連盟
(KLEG) 発行、N-ro 809 julio
2018.: B5x16 頁のうち E. 文 3 頁。
巻頭記事は「第 66 回関西エスペラ
ント大会(5 月、吹田市)。Kajero Li
-bwevola は Deziro al la socio
sennuklea/NAKAZIMA Tetuen.
書評: Kie miozotas memor’/伊藤
俊彦: 有名無名の e-istoj のエピ
ソード。対訳連載中の源氏物語は
第 17 帖絵合に入った。2017 年度
KLEG 活動報告(3 頁)。

* NOVA VOJO : N-ro 552 julio
2018, EPA (エスペラント普及会)、A5

X26 頁のうち E. 文は合計 6 頁半。
Prelego 欄: “Esperanto - la
ponto inter Japanio kaj Koreio/
LEE Jungkee”, “Edukitaĵoj kaj
kvalifikitaĵoj, sed ni ne havas
laboron/Pradup Ghimire (Nepalo)..
連載 20 回を迎えた「エスペラント朗
詠短歌通信添削/前田茂樹」は短
歌を Esp. で作る人には大いに参考
になる。連載中の「EPA 100 年の歩
み」は第 4 回。

北海道エスペラント連盟 会費/年
正会員 3000 円、青年会員(26 歳未満) 1500 円、
購読会員 2000 円、家族会員、失業者など割引 1000 円

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

* Redaktas la Organo Fakoj de HEL
c'e HOSIDA Acus'i

Miyanomori 2-18-18, TOMAKOMAI
053-0844 JAPANIO

TEL-FAKS: 0144-74-2539

Retadreso: hosidaacus@kir.biglobe.ne.jp

* Sekretario: KAWAI Yuka

N-ro 100, Simin-Katudo-Sapoto-Senta
Sapporo L-Plaza 2F, Kita 8 Nisi 3
Kita-ku, Sapporo. 060-0808 Japanio

TEL-FAKS: 0123-88-3752

Retadreso: kunesper@olive.plala.or.jp

* ITI-ejo : <http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/index/index-j.htm>

* Pos'tg'irkonto (郵便振替) : 02700-6-17075

北海道エスペラント連盟

* 編集: 連盟機関誌部

〒053-0844 苫小牧市

宮の森町 2 丁目 18-18

星田 淳 方

* 事務局: 川合由香

〒060-0808 札幌市北区

北 8 条西 3 丁目札幌エルプラザ

市民活動サポートセンター 1 階 No.100